

地球環境部門—パネルディスカッション（2）

アジアのカーボンニュートラル実現と建築の役割

[資料あり]

9月12日（火）9:00～12:30 オンライン 第N室

司会 高口洋人（早稲田大学）

副司会 川上梨沙（清水建設）

記録 範 理揚（日建設計総合研究所）

1.主旨説明 高口洋人（早稲田大学）

2.主題解説

①アジアのエネルギー消費の現状

玄 姫（住環境計画研究所）

②韓国における建築分野の脱炭素への取り組み

Seo,Hyuncheol（慶北大学）

③中国における建築分野の脱炭素への取り組み

張 会波（上海交通大学）

④東南アジアにおける建築分野の脱炭素への取り組み

一ノ瀬雅之（東京都立大学）

⑤インドネシアにおけるアフォーダブル低炭素住宅の取り組み

久保田徹（広島大学）

3.討論 進行：高偉 俊（北九州市立大学）

コメンテーター：吉野 博（東北大学名誉教授）

4.まとめ 中上英俊（住環境計画研究所）

2050年のカーボンニュートラル実現に向け、アジア各国で議論が始まっている。アジアと括っても、人口減少が始まった日本や韓国、中国やタイ等の先発新興国、人口増加に経済成長も著しいインドネシアやベトナムの新興国では発展段階が異なり、自ずとその内容が異なってきている。成熟国では新築からストックの改良に対象が移りつつあるが、新興国ではこれからも大量の建築ストック整備が求められる。

本パネルディスカッションでは、各国の専門家、研究者を招き、それぞれの目標達成プロセスや建築物単体での取り組みを共有し、アジアのカーボンニュートラル実現におけるアカデミックの役割を考究する。